

下館ロータリークラブ会報

SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT 2008~2009

RI会長 李 東建 RIテーマ 夢をかたちに／Make Dreams Real



会報 No.2119 前例会 No.2391 発行日:2008年12月3日(水) 前例会報 No.2118 2008年11月26日(水)

本日のプログラム

- 外部卓話 ※茨城の底力
(元国土交通省事務次官 小幡 政人氏)

会長挨拶

荒川洋一 会長

湊ジャヤンティさんにおかれましては、大変お忙しい処お出掛け下さいまして有難う御座いました。本日は「ネパールについて」お話を下さるとのことで御座いますが、大変楽しみにしております。宜しくお願い致します。湊さんには下館とネパールの間の懸け橋として大変お世話になっておりますが、お陰様で「この指とまれ」の事業も、先日下妻RCに手を挙げて頂き順調に広がりを見せているところです。湊様におかれましては、お忙しいとは思いますが今後も宜しくお願い致します。例会後の歓迎会ではおいしい手打ちそばも出るとの事ですので、ごゆっくりお楽しみ下さい。

幹事会報告

中里泰久 幹事

- 岩瀬 RC より 移動例会・休会の通知受理
12月24日(水)の例会は年末家族会の為
18:30~ 湖畔閣で開催
12月31日(水)の例会は年末の為休会
- 笠間 RC より 移動例会の通知受理
11月20日(木)の例会は職場訪問の為
午前11時 水戸・常陽芸文センターに変更

卓話

湊ジャヤンティ 様

今日はネパールについて話をさせていただきます。私は日本に1980年にきました。私の兄も留学生で日本にいました。私も小さい時から日本に行きたいと思っていました。親は日本だったら兄もいることだからと言って行かせてくれたわけです。最初来たとき言葉はわからない・友達はいない・勉強はわからないと、毎日泣いていました。大学で勉強するしかない一生懸命勉強ばかりしていましたから成績はよかったけど、今度は日本で楽しいことを覚えて楽しくて卒業できなかったら大変だと思いました。大学の時アルバイトをしていた時に知りあった彼が今の夫です。それから私は日本の大学を卒業して日本の企業に就職しました。それで主人と結婚しました。当時主人は、銀行に勤めており朝早く仕事行き遅く家に帰って来るという、つまらない日々をすごしていました。主人は私と結婚するのにネパールのことを何も知らなかった

次週のプログラム

- 12月10日外部卓話 ※ジョブ・カード制度について
(結城商工会議所 柴 千尋氏)

けど、何回か行っている間にこの国を何とかしなくてはと思いつつ、途上国に関して興味が高まったようです。銀行を辞めて国際関係を勉強するために大学に行きました。それから娘が生まれ、主人も大学を卒業して現在のFASIDで働きはじめました。今は途上国のことについて、私より彼のほうが詳しくなっていてネパールのことについては私が彼に聞かないとわからないことが沢山あるくらいです。私が来たばかりは、ネパールの人が少なくさびしいと思った時もありましたが、今は多すぎて在日ネパール人の行事が多くてうんざりなるくらいです。このように自分の国にいた時より日本に来てからのほうが長いわけですが振りかえって自分の国を見るとそこには色々な問題があるわけですが、その中でも一番何とかしなくてはと思うことが、子供達の就学率アップをするためには学校のことを考えなくてはいけないのではないかと思います。最新のデータでは就学率が90%、識字率は男65%女42.8%。中退率が多いです。子供達にはどうしても学校に行ける環境作りが大切です。ネパールでは国の予算の17%が教育費だそうです。2003年より、皆さんから毎年勉強道具を送り続けていると聞いて感動しました。これは子供達が勉強したいという意欲にも繋がっていくと思います。学校に行けば日本から送られてくる道具がある。何も買わなくても学校で勉強ができる。と親も思うだろうし、そのことで就学率アップにも繋がります。また、ネパールの子供たちは水汲みに行かなければならないので学校に行く時間がないのですが、来年は飲み水の機械も納めてくれるという話なので、学校にはおいしい水が飲める生活があるといえれば親も学校に行かせてくれると思います。将来、皆さんが支援してくれる学校の生徒が奨学金で茨城の大学に来て優秀な成績で卒業しネパールに帰り、国のために働きカトマンドウのロータリアンになるとを願って私のお話を終わりにしたいと思います。

